

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆AIによる世界の変容と知的財産を考える◆

【パネリスト】

- 1) 椎塚久雄 【工学院大学名誉教授】
- 2) 吉原拓也 【北海道大学人材育成本部特任教授】
- 3) 今堀克彦 【秀和特許事務所パートナー・弁理士】
- 4) 中島 淳 【日本知財学会 理事(副会長) : 特許業務法人太陽国際特許事務所 所長、工学院大学客員教授、静岡大学客員教授、弁理士、博士(工学)】
- 5) 押久保政彦 【当分科会幹事 : 押久保政彦国際商標特許事務所、弁理士】
- 6) 遠山 勉 【当分科会幹事 : 弁理士】

【内容】

AI(人工知能)により世界が変わろうとしている。囲碁や将棋の世界では、人間はAIに勝てなくなってきた。AIにより小説を書くという試みもなされている。一説によると多くの分野で、AIに取って代わられなくなる職業もあるという。「完全な人工知能を開発できたら、それは人類の終焉を意味するかもしれない」という論者もいる(ホーキング博士)。まだまだ未知数のAIの世界。さて、このAIの発展により世界はどうなっていくのであろうか。また、AIによる知識創造の成果について知的財産はどのように扱われるのであろうか。今回のセッションでは、学術・企業・弁理士という3方面の立場の登壇者に、それぞれに立場で、AIによる将来の世界を語ってもらい、知的財産という視点からも検討してみたい。椎塚教授には、意思決定論を始めとする様々な研究がAI活用によりどのように発展していくのか等を含めて、学術研究の未来を主に語っていただき、吉原教授には、企業から大学へと活躍の拠点を移した経験からAIの社会での活用・未来像を語っていただき、今堀弁理士には、知財とりわけ特許の世界でAIがどのように活用されていくのか、その保護のあり方はどう変容するのか等について言及していただく予定である。議論は、当分科会の担当理事中島弁理士、同幹事の遠山・押久保弁理士によるコメントを含めて進めていく予定である。

【登壇者略歴】

1) 椎塚久雄【工学院大学名誉教授】工学院大学大学院工学研究科修了、工学博士。1995年工学院大学教授。日本感性工学会会長、日本知能情報ファジィ学会副会長等を歴任。国公立大学非常勤講師多数歴任。2013年皇太子殿下への御進講。現在、一般財団法人ファジィシステム研究所特別研究員、株式会社椎塚感性工学研究所代表取締役、中央大学共同研究員、南京航空航天大学客員教授。主な研究歴：回路構成論、グラフ理論、ペトリネット、システムシミュレーション、ファジィ理論、ソフトコンピューティング、感性工学等。主な学会役職歴：2001～2003年日本ファジィ学会副会長、2007年9月～2013年9月日本感性工学会会長(3期連続)。2013年～Chair of ISASE (International Society of Affective Science and Engineering), 2016年～アフェクティブイノベーション協会会長、現在に至る。

ビジネスと知的資産・知財法研究分科会セッション

◆AIによる世界の変容と知的財産を考える◆

2) 吉原拓也【北海道大学人材育成本部特任教授】北海道大学大学院工学研究科原子工学専攻卒。大阪大学博士(工学)。日本電気株式会社基礎研究所、システムデバイス研究所、知的財産本部等を経て、北海道大学人材育成本部特任教授、現在に至る。連携型博士研究人材総合育成システム・総合イノベ人材育成システム専門委員会コーディネーター。

3) 今堀克彦：東京大学工学部精密機械工学科卒業、東京大学工学系精密機械工学大学院修士課程修了、ファナック株式会社を経て、秀和特許事務所入所、弁理士会にて、知財流通・流動化検討委員会、知財価値評価推進センター運営委員、国際活動センター運営委員、常議員、知財価値評価推進センター副センター長、関東支部企画及びサービス委員会委員などを歴任。

4) 中島 淳：工学院大学大学院博士後期課程電気電子工学専攻修了。1988年：弁理士会副会長。2007-2008年：日本弁理士会会長。2002-2004年：内閣府総合科学技術会議知的財産戦略専門調査会委員、2011年-2013年：知的財産戦略本部本部員、著書に『インテレクトチュアル・プロパティ』（共著/社団法人発明協会）、『知財最前線からのメッセージ』（共著/財団法人経済産業調査会）など。

5) 押久保政彦：東京理科大学大学院総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻終了（知的財産修士）。同イノベーション専攻（博士後期課程）単位取得満期退学。博士（技術経営）。携帯電話販売会社、特許事務所勤務を経て押久保政彦国際商標特許事務所を設立、現在に至る。弁理士。1級知的財産管理技能士（特許専門業務／コンテンツ専門業務／ブランド専門業務）。

6) 遠山 勉：中央大学法学部法律学科卒。東京理科大学工学部第2部電気工学科卒。自動車部品メーカー、特許事務所を経て佐藤・遠山特許事務所を設立、秀英国際特許事務所と改名後、合併で秀和特許事務所共同設立。株式会社知財ソリューション設立、現在に至る。秀和特許事務所相談役。成蹊大学法学部非常勤講師。弁理士・特定侵害訴訟代理登録。

以上